

背景

- **急増するニホンジカ**
 - ・かつては、伊吹山のような多雪地では、冬期にシカの死亡率が上がり個体数は抑制されてきた。
 - ・しかし、**地球温暖化の影響**で伊吹山の積雪量が減少し、シカが生息しやすい環境となってしまった。
- **減少する狩猟者・担い手**
 - ・狩猟者の高齢化と減少により、狩猟によるシカの増加抑制に限界があり、植生保護活動が不十分となっている。

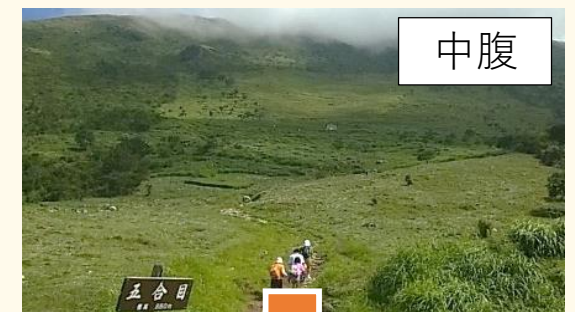


現状の課題

- **伊吹山特有の気候がもたらす植物の宝庫**
 - ・固有種（特産種）の宝庫
 - ・寒い地方でみられる植物が生息
 - ・日本海側でみられる植物が生息
 - ・石灰岩地に適応した植物の存在
- **ニホンジカの増加に伴う植生の崩壊**
 - ・貴重植物を含め植物を食べ尽くす。
- **斜面の裸地化による登山道の崩壊危機**
 - ・裸地化したところに異常気象による大雨により登山道が崩壊している。

過去

現在



事業の目的

- **ニホンジカの捕獲強化**
 - ・元凶となるニホンジカの頭数を減少させる。
- **ニホンジカの侵入防止による植生保全**
 - ・植生防護柵を強化する。(大規模柵)
 - ・貴重種を個別保護する。(小規模柵)
- **登山道における安全確保**
 - ・裸地化対策と登山道を改修する。
- **観光資源保護の担い手の育成**
 - ・伊吹山保全に関わる方を増加させる。



現在の取組

- 植生防護柵の維持管理
- 登山道の補修

得られる成果

- **観光資源の保護と関係人口の増加**
 - ・複合課題を様々な関係者が協働で解決するモデルの構築
 - ・気候変動適応策の必要性の訴求

寄附をするメリット等



- **米原市特設WEBページでご紹介させていただきます**
 - ・気候変動や環境保全への貢献PR
 - ・京阪神、東海、北陸からの観光客への貢献PR

■ **連絡先**
米原市役所市民部自治環境課
TEL : 0749-53-5112 (直通)
E-MAIL : kankyohozen@city.maibara.lg.jp

